東小で取り組む環境整備活動

高崎市立東小学校

１　取組みの概要

本校は、校区が市街地の中にあるので自然と触れ合う機会がかなり少ない。そこで園芸委員会が中心となり、年に２ 回花壇への花の移植などを行っている。また、卒業式へ向けてパンジーやビオラなどをプランターで栽培している。本校の中庭は、理科や生活科で花や野菜を育て、大切な学習の場となっている。昨年度も苗植えや水やりをして大事に育て、卒業式当日の会場をきれいに飾ることができた。さらに学級菜園や花壇、樹木園などでの緑化体験活動や環境整備体験をすることで、自然を大切にする豊かな心を育んでいる。今年度も、できる範囲で取り組んできた。さらに、学校ＩＳＯの趣旨のもとエコキャップや靴のリサイクル等、様々な環境活動を実践している。

２　令和７年度の活動内容

○　園芸委員会が取り組む「花いっぱい運動」

栽培活動では、園芸委員会の児童が中心となって、パンジー、ヒヤシンス、チューリップなどの苗と球根植えを行い、花いっぱい運動に取り組んできた。花壇だけでなくたくさんのプランターにも花を植え、児童玄関・職員玄関・体育館入り口などを、様々な花が彩っている。花壇の除草にも取り組み、心豊かな学校づくりをめざしている。

○　全校児童によるボランティア活動と PTA によるクリーン作戦

校庭の整備や石拾い、草むしり、落ち葉の片付けなどの環境整備活動を実施している。

○　PTA 環境整備委員会による「ガーデニング」

PTA では、年に２回ガーデニングを行っている。６月にはサルビア、ベゴニア、日日草を、12 月にはチューリップの球根を植えることができた。花苗や球根は、中庭にある東小の大きな文字になぞらえた花壇や東の森の花壇に植えられ、中庭は１階、2 階・3 階の全教室から見ることができ、児童の癒しの場所となっている。

○　靴のリサイクル

JRC 委員会が中心になって、エコキャップ集めや靴のリサイクルなどを行った。今年度も児童玄関にある東小のマスコットと一緒にメッセージを置き、給食時の全校放送やポスターを使って委員会から全校児童に協力のお願いをした。靴やエコキャップの数が目に見えてわかり、多くの児童が環境を意識して取り組んだり協力したりすることができた。

３　取組みの見直し及び今後の活動

○今年度も、様々な活動を進めることができた。引き続き、PTA と全校児童による環境整備作業や低学年による花や球根植えの作業等は、社会環境や児童を取り巻く環境を考慮しながら計画・実施をしていく。PTA のガーデニングとクリーン作戦などの恒例行事も、周りの状況を考慮しながら一年間を見通した花いっぱい運動を計画して実施していく。

○園芸委員会（緑の少年団）を中心とした児童主体の栽培活動を進めていき、できる範囲で花いっぱい運動の趣旨を広めて取り組んでいく。